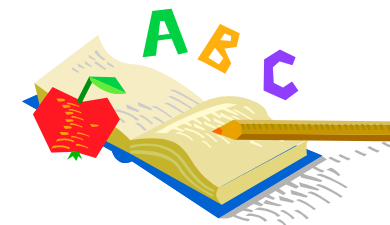


クリフォードが考える、なぜ子ども英語？

➤ 小さい頃からネイティブ教師で英語レッスンを始めるメリットは？

1. 子どもの脳が柔らかいうちに、**母語以外への音、言語に慣れる**
2. **外国人に慣れる**



➤ デメリットはある？

外国語圏での生活など、子どもに母語と外国語の区別がつかないような環境にない限り、母語とは別の外国語として始める英語にデメリットはありません(※)

(※)セミンガルという言葉をご存知でしょうか。2つ以上の言語を同じように流暢に使えるバイリンガルと反対の、どちらも中途半端な状態のことを言います。成長するにつれて、より複雑な思考を表す言語表現が必要になっていきますが、1つでもしっかりと思考できる言語がないセミンガルの子は大変なハンデを背負うことになります。けれども母語(日本語)があり、その上に外国語を始めるのなら、このような心配は全くありません。

➤ 英会話教室に通えば、話せるようになる？

1. 週1回のレッスンだけでネイティブのように話せるようになる、そんな夢の勉強法は残念ながらありません。しかし、週1回のレッスンでも**児童英検、英検に合格**することから、英語での理解力をつけることができるのは確実です。
2. 学校で初めて英語に触れる子と、週1でも英語に触れていた子では、本格的に勉強が始まる中学校の授業での**英語に対する積極性、文法の理解度**が明らかに違います。
3. 語学の習得は、**インプットとアウトプットの量**にかかっているとと言えます。大学受験でも、それまでの英語の**インプット量が圧倒的に多い帰国子女がやはり有利**です。したがって家庭でも映像、音声などで英語に触れる時間を少しでも作れば(インプット)、レッスンへの参加度、発言度(アウトプット)が大きくなり、より効果が期待できます。

子どもが英語は楽しい時間に使うものだと思えれば、その子は間違いなく英語が好きになります。**好きになれば吸収力が違いますから、後々インプット、アウトプット共に効率よく行うことができます。**これがまだ小さく、苦手意識を持つ前に英語を始める最大のメリット、クリフォードが考える子ども英語です。